三島伊
ものがたり

へ 13
3973

門へ13
號3973
巻

西國巡礼
知澄
知澄
安川
杉本氏

三馬戯作　森屋新版

三馬御詠歌

今までハ親とよのゝ笠摺ぞ紙ゝ美波の谷汲

西國札所
三拾三番
みのゝ谷汲
濃州谷汲山
華嚴寺
豐然上人開基也

○伏寛

昔ハ其ゝ美波國の孝婦
ありけるとかや父母ハ後ハ千住
石宰ハ高ゝ若葉ハ仕竟
天公乃冥助ハよろく父母の命ぜと報の
ちのゝ孝婦の眼ハ明ぬと云ゝ二條
且無井のほとりに支跡をとゞめ水條作の塚
あの来歴とかゝ有文墨僧僧の懺殺
看官ゆゝしのべしとかをれゝ

文化五年戊辰陽月開刻　式亭三馬著

無井乃ゝ水肖像

江戸唄

おろかくら道

青墓

巻之下

三馬作
閃一亭三生校